

ほっとねっと

発行:日本木管コンクール委員会
〒673-1311 兵庫県加東市天神66
TEL 0795-47-1500

~亀井良信さんへのインタビュー~ !



- Q 亀井さんは、平成5年の第4回で入選、平成7年の第6回で3位とコスマス賞、平成15年の第14回で1位とコスマス賞を受賞されています。
亀井さんから見たコスミックホールで開催のコンクールをどのように見ておられますか?
- A 第28回日本木管コンクールの開催おめでとうございます。初めて受けたのが24年前の第4回目のコンクールは高校3年生の時。まだ怖いもの知らずで生意気な子供でした。(笑) 旧東条町の方々の温かいおもてなしの中、非常にアットホームなコンクールだったと今でも忘れていません。日本木管コンクールの知名度はとても高く、若い奏者達の登竜門の一つになっていることは間違ひありません。
- Q ホールの音響を生かした演奏とは…。コンクールを受けられる方へのアドバイスを。
- A 自分の奏でている音、音楽によく耳を傾ける事でしょうか。
楽器を吹く技術はこの10年くらいの間に、考えられないほど向上したと思います。技術はあくまでも表現するためのもの。
ひけらかさず自分の心と向き合って、今できる最大の表現を舞台で披露できると良いですね。
- Q コスマス賞審査員について、どう見られていますか?
- A コスマス賞審査員、世の中に出て、コンクールの時のような大勢クラリネットを知っている人の所で演奏する事は稀な事。一般の方々が聞いて良かったと言つてももらえたなら、それは一番の励み。僕にとってコスマス賞は今までコンクールで貰ったどの賞よりも一番宝物になっています。

~加東市のまちについて~

「山よし!技よし!文化よし!夢がきらめく☆元気なまち 加東」。
平成18年3月に旧社町、滝野町、東条町が合併し、面積157.55km²、人口約4万人の市として発足し、今年加東市政11周年を迎えるました。
自治体別住みよさランキングでは、項目別としての兵庫県内順位では、安心度5位、利便度20位、快適度1位、裕福度12位、住居水準充実度17位、総合評価では兵庫県内2位、全国54位の評価を得ています。さらに、図書貸出密度(人口3万人以上4万人未満の市)は「10年連続日本一」に輝いています。

シンボルその1 <ピラミッド>

CosmicHallの駐車場に車を進めると、春はしだれ桜が温かく迎えてくれます。その先のロータリーに「シンボルその1」がある。イタリア在住の鈴木淳氏製作のピラミッドのモニュメント『出会い』を意味します。天空から降って湧いた隕石と、叡智で築いたピラミッド、そして大地を潤すオアシスの出会いのように。Hallがすばらしい文化発信基地であつてほしいと願つて製作された。

ピラミットの周囲の植木は「オアシス」の意味です。悠久の過去から未来へと、時空を超えた人と人の出会い・ふれあいの場であるようにと…。

作者鈴木淳氏(ジュン スズキ)の「出会い」の思いが凝縮したモニュメントです。ピラミッドの写真は今年の1月15日珍しく2~3cm積雪したときの写真です。



<コスミックホール 1年の歩みより>

日本センチュリー交響楽団 東条公演 H29.2.26
~第27回 日本木管コンクール優勝者 鈴木美良乃さんを迎えて~

東条コスミックホール恒例の里帰りコンサート。

今年は、ソリストに昨年度の優勝者 鈴木美良乃さんをお迎えし、日本センチュリー交響楽団のご厚意を得て、開催されました。

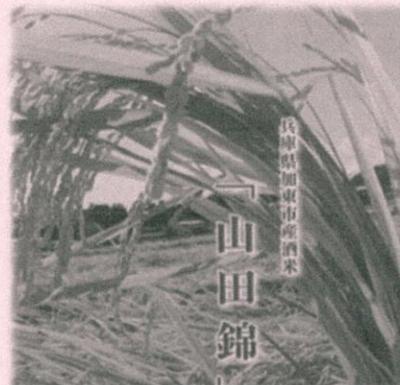
私たちにとって、「日本木管コンクール」から羽ばたかれた若き演奏家をお迎えできるはこの上ない喜びであり、心沸き立つ思いです。松本宏康氏の指揮による、爽やかな風が吹き渡るような、柔らかかつ壮大な交響曲第6番「田園」、初々しくも堂々とした鈴木美良乃さんの美しいフルートソロによるライネッケの「フルート協奏曲」がホールに響き渡りました。住民参加による「コスミックホールで歌う会」60余名も賛助出演。「ファンタジア四季」を歌い、「NPO法人新しい風かとう」の活動をアピールしました。



~加東市特産物の紹介~



【播州針】北播磨一帯の約80軒の業者で作られる釣り針。全国生産の9割以上を占め、地域で一貫生産する地場産品となっています。江戸時代に庄屋の小寺彦兵衛が土佐でその技術を習得し、播州に戻って業を起こしたことから始まり、以後連綿と技術が受け継がれ、世界にその名を轟かせ、アメリカ、ヨーロッパや全世界へ輸出されています。加東市のマスコットキャラクター「加東伝の助」は小寺彦兵衛がモデルとなっています。



【酒米山田錦】日本酒の最高の原料である酒造好適米「山田錦」の最高産地「特A地」です。東西の谷、日当たりが良いこと、昼夜の寒暖差が大きいこと、階段式の棚田で水はけが良く、しかも粘質がかった土壤が好適地とされています。加東市産の山田錦米は、青森県から佐賀県まで、ほぼ全県の酒造会社に出荷され、ブランドの「山田錦 大吟醸酒」となり、フランス料理などにも供されています。加東市内酒造では、山田錦大吟醸“神結”(かみむすび)があります。

【ひな人形】播州のひな人形づくりは、明治時代に京都から職人を招いて加東市周辺の農家が製法を習ったことが始まり。人形づくりは今も分業制で、頭師、小道具師など全国でパートをつくっています。加東市では着付師が胴体と衣裳をつくり、着物を着せて人形本体を仕上げています。女の子の誕生を祝うひな人形(檀飾り)、男の子の誕生を祝う五月人形(座敷飾り)等となり、全国で販売されています。



【鯉のぼり】加東市でつくられてきた鯉のぼりは、「播州鯉」と呼ばれ、写実的で色落ちしない品質で評価を得ています。明治30年頃、大阪・堺で製法を学んだ者がこの東条地域で冬場の仕事として広めたことが始まり。当初は、和紙に鯉の模様を手書きしたものでしたが、時代の流れとともに、木綿地、羽二重、などの布に手書き。現在ではナイロン、テトロン等に型染したものが主流となって、全国に出荷されています。



~加東市ふるさと納税(ふるさと応援活動支援金)のご協力をお願いいたします~

特定の団体(支援希望団体)に対する寄付の受付を開始しています。
QRコードをスマート等で読み取っていただくと加東市ふるさと応援活動支援交付金交付制度のページにつながります。申請用紙については、ホームページからダウンロードできます。
特定の団体(支援希望団体)については、「特定非営利活動法人 新しい風かとう」にお願いします。
詳しくはホームページをご覧ください。
また、団体名をクリックしますと「特定非営利活動法人 新しい風かとう」のホームページをご覧いただけます。



~日本木管コンクール開催における協賛金・ご寄附にご協力をお願いいたします~

日本木管コンクールは、地元の企業や楽器メーカー各位をはじめ、コンクールを応援してくださる個人の皆様の温かいご寄付とご協賛支援に支えられて取り組んでまいりました。
「この素晴らしいコンクールと文化の灯を消してはならない」との思いと、若手音楽家の登竜門として、また日本の音楽文化の発展に寄与した功績をご理解いただき、今後もコンクールを継続するためにご協力を仰ぎたいと考えております。
どうぞ、皆様の温かいご支援を宜しくお願いいたします。
詳しくは「特定非営利活動法人 新しい風かとう」又はQRコードをスマート等で読み取ってご覧ください。



<http://cosmic-hall.org/>



加東市東条文化会館
コスミックホール



加東市東条文化会館・コ
スミックホール